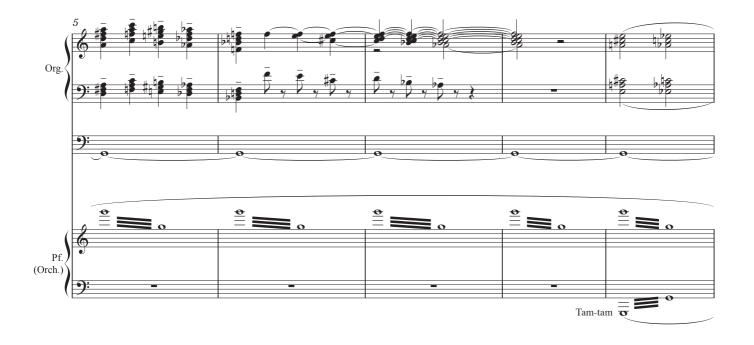
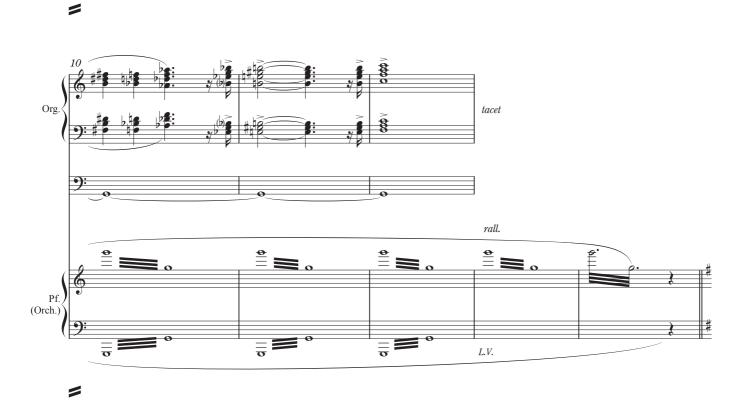
二十億年前の石

(ヴォーカルスコア)

宮本益光 作詩 信長貴富 作曲







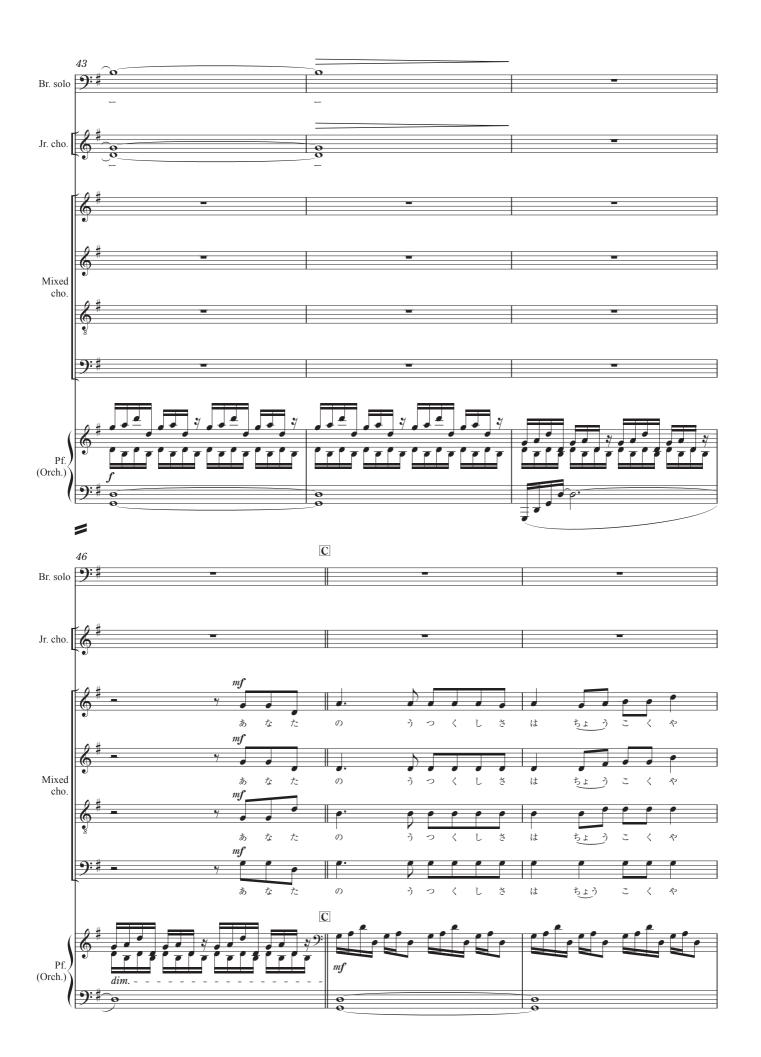








































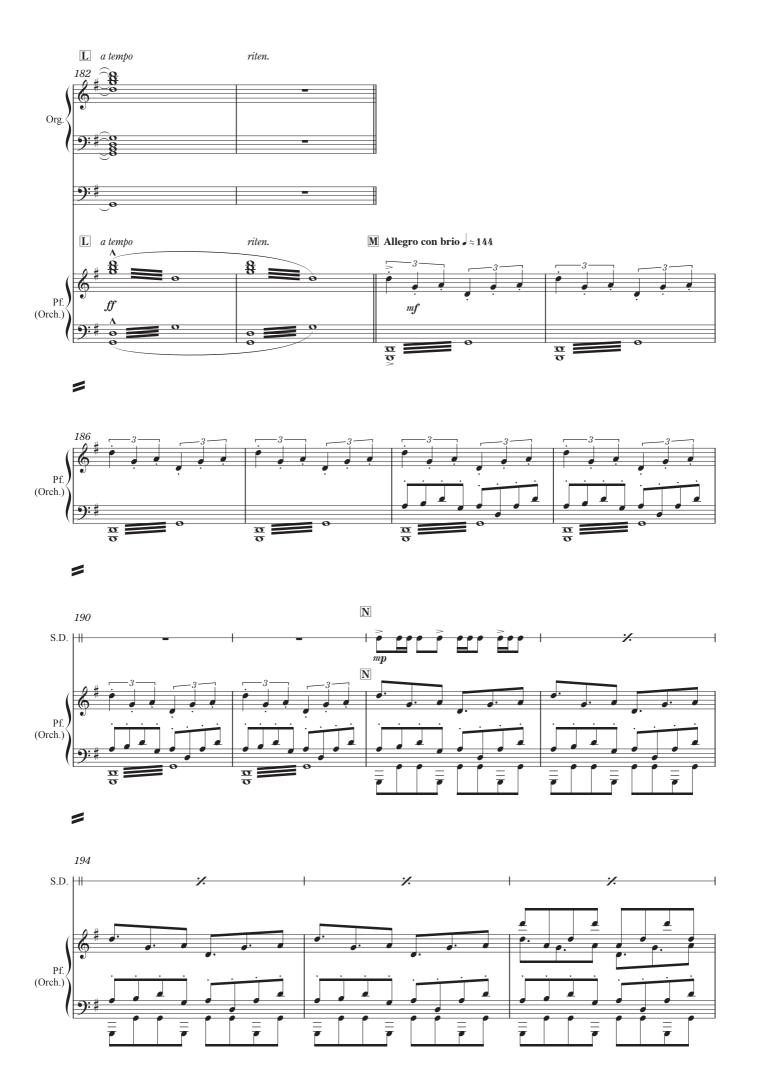






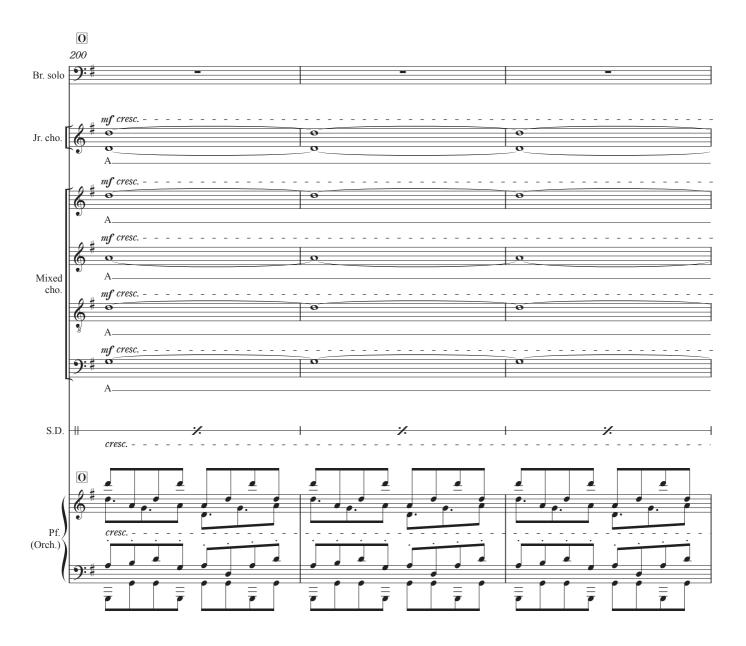


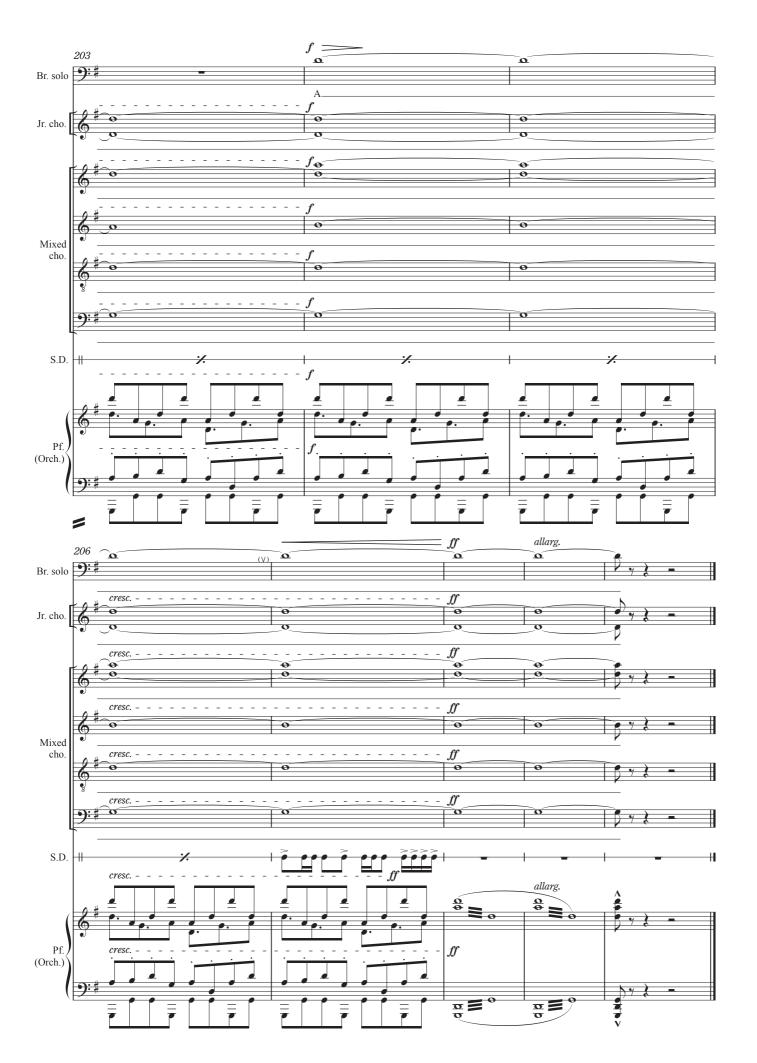












君こ冬事実であり、法則なのだ謎に満ちた無限の奇跡が君の今を描いているごらん、君の中で渦巻く小さな宇宙を私も今に在る石なのだまが数年前の君ではないように

あなたは二十億年前の石なのだ縄文人が腰かけたこともあったろう恐竜に踏みつけられたこともあったろうあなたは命の証人だいいえ、ただの石ではない

私はただの石である。君がただの人であるように

あなたには何が見えたのか二十億年を経て

家族と夕食を共にしたほうがいいそんな心配をする暇があったら

あなたは恐怖を感じないのかいつか地球も無に選るらしいが

私はただの石なのだ

私に縋るな、私を崇めるな

そして宝石にさえなるあなたの美しさは彫刻や墓標

私は事実であり、法則なのだ過去は私の中にある

私の知らぬ過去を教えてほしい途方もない刻を過ごしたあなた

二十億年前の石